

コロナ感染症から子どもと教育を守ろう！NEWS②

新型コロナ感染症に関する通知などの情報や、府高教のとりくみ、現場の声をお伝えします

今こそ、「せんせいふやそう」「教育予算」の充実を！

今後、学校が順次再開される中で、学校の安全確保に努めながら、生徒の学びを保障するためには、教育予算の充実が絶対的に必要です。感染拡大防止のための環境整備、衛生用品の準備は学校の判断や「努力」に頼るのではなく、府教委が責任をもって行わなければなりません。

また、生徒一人ひとりのケアをすすめながら、学習を保障するには、教職員の大幅増が必要です。「少人数授業」を展開する場合には、教職員数増が必要です。「再開後に補習等で授業数が増加する場合」であってもしっかりとした学びを保障するには、教職員数増が必要です。人員の増加は避けて通れない喫緊の課題です。

●少なすぎる大阪府教育補正予算（教育庁関連）

1号(3/26)	「学校給食休止への対応」 9,229千円※ 府立支援・府立中学の学校給食の食材キャンセル分
2号(4/8)	なし
3号(4/14)	「家庭学習の支援(図書カード)」20億円、「相談体制の拡充(LINE相談)」2,512千円
4号(案)	「衛生用品等の供給」府立学校・警察・福祉施設に配布、幼稚園に購入補助 ※府立高校では、学校健康診断で医師の使用するマスク・消毒液等

●教室・保健室をクラスターにしてはならない！必要な予算措置を！

府高教は、職場の声を集約し、「学校の感染予防対策」として以下の「緊急申し入れ」を行っています。今後も現場の声・要求を集約し、府教委との交渉や折衝を続け、実現を求めています。

2. 学校の感染防止対策

- ①学校がクラスターの発生場所とならないための条件整備を行うとともに、設置者が保健所・医師会等と連携して、教職員の感染防止対策、とりわけ養護教員と保健室の感染防止対策の詳細な対応マニュアルを作成すること。
- ②感染防止対策に必要なマスク、消毒液、非接触型体温計、液体石鹸、ペーパータオル、ビニールカーテン、フェイスシールド、ビニール手袋等の物品については、各学校の裁量に依らず早急に配布すること。
- ③感染が疑われる生徒が待機（隔離）する場所を確実に確保し、保健室が感染していない生徒と接触する場所にならないようにすること。

VOICE 十分な非常勤講師時数を確保せよ！

非常勤講師は1コマあたり、年間35時間の予算が配当されています。職場の非常勤の先生たちからは「8月や土曜日に授業や補習が行われた場合、勤務はどうなるのか」といった不安の声があがっています。「非常勤講師の先生が”ただ働き”することは無い」と聞いていますが、仮に予算が確保されなければ、「自習対応」「ただ働きの強要や黙認」が各学校で生じるのは必至です。子どもたちのために安全と学習を保障せよといった指示だけでなく、実行できるよう責任をもって予算措置を行っていただきたい。(Cさん)

人員配置について国・文科省の動きは…

補正予算には、「学習指導員等の配置」として、わずか8億円の計上にとどまる

文科省が4月7日に示した補正予算案には、「学習指導員等の配置」として、わずか8億円の計上にとどまっています。今年度予算で、英語の専科教員の加配等でわずか3,726人の増員にも82億円が計上されていたことを踏まえれば、今回の増員配置の予算8億円はあまりにも少なすぎます。

コロナ感染拡大防止のため、少人数指導のできる体制、そして様々な対応に責任の持てる体制を整えるため、まずは、府として独自に教職員の増員配置をするとともに、国に対しても教職員の大幅増員を緊急に行うよう求めていく必要があります。

文科省は「教員加配」など、「退職教職員等の協力も得つつ追加配置」の考えを示す

文科省が4月10日付「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について」の文書で、教員の加配についての考えを示しました。「児童生徒が登校できるようになった後における学習指導」の項目に、「学校において可能な限りの措置を講じる」ものとして「教員加配や学習指導員、スクールカウンセラー等について退職教職員等の協力も得つつ追加配置」として、「補習やきめ細かな指導、感染防止のための少人数指導等によるサポート」を行うとされています。

「えがお署名」をひろげ、国の責任で少人数学級の前進を！

コロナ感染症は、収束までに1～2年はかかるという見方もあります。当面の対策に加えて、長期的な視点に立った改善策も必要です。

学校には、コロナ感染症対策や長期間の臨時休校に伴う様々な対応が求められます。国の責任で少人数学級を前進させるべきだということに理解を得られる状況となっています。

国の教育予算を増やして、教職員定数の抜本的改善を！そのために府高教は、毎年、次年度の概算要求期に向けた「えがお署名」にとりこんでいます。

各省が、財務省に対しておこなう、翌年度の事業に対する予算要求が「概算要求」です。私たちの願いを実現するためには、ここに私たちの要求を反映させることが重要です。そのため、概算要求期におこなう「えがお署名」は、大変重要なとりくみになります。

この「えがお署名」を広げ、少人数学級の前進を求めていきましょう。



各職場分会に送付しています♪

新型コロナウイルス対応に関してご意見ください

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休校や再開後の学校での対応について、学校現場で困っていること、改善したいことなど、ご意見をお聞かせください。今後の府高教のとりくみに生かしていきます。

府高教メール osfuko@yahoo.co.jp

／／一人ひとりの声は小さい…だからみんなで！ あなたも府高教へ／／

メール



加入はこちら

